

科目名		単位数	担当教員	区分
平成26年度以降	経済学 I	2	佐藤 晴彦	
平成25年度以前	経済学基礎	2		
教職	教員の免許状取得のための選択科目			教職
	教科に関する科目(中学校(社会)):社会学、経済学			
	教科に関する科目(高等学校(公民)):社会学、経済学(国際経済を含む)			
授業の到達目標及びテーマ テーマ: 興味を持って理解できること 到達目標: ① 日常生活の中で経済はどのように影響を及ぼしているかを理解できること。 ② 経済の基礎を理解し、より高度な経済学や経済政策の理解、同時に公務員試験問題に解答可能になること。 なお、本授業は教職の教科科目でありこの点を配慮する。				言語
授業の概要 市場経済の基本的な機能を正確に理解できるように解説する。その方法は完全競争市場を仮定した需要・供給分析とマクロ経済によって説明する。				共通
授業計画 第1回:希少性と資源配分(1) 生産と消費の資源 第2回:希少性と資源配分(2) 市場と資源配分 第3回:需要と供給(1) 需要と価格 第4回:需要と供給(2) 需要曲線のシフト(移動) 第5回:需要と供給(3) 供給と価格、供給曲線のシフト(移動) 第6回:価格の決定とその変化(1) 価格の決定 第7回:価格の決定とその変化(2) 需要曲線のシフトと財の価格変化 第8回:価格の決定とその変化(3) 供給曲線のシフトと財の価格変化 第9回:資源配分と所得分配の決定(1) 資源配分の決定 第10回:資源配分と所得分配の決定(2) 所得分配の決定 第11回:資源配分と所得分配の決定(3) 単純な経済循環 第12回:国内生産の決定(1) マクロ経済学の諸概念 第13回:国内生産の決定(2) 国内総生産と国内総支出の決定 第14回:経済の変動と安定化政策(1) 国内総生産の変動 第15回:経済の変動と安定化政策(2) マクロ経済の安定化政策 定期試験				専門基礎
テキスト 岩田規久男『経済学への招待』新世社				法律一般
参考書・参考資料等 特になし				政治行政
学生に対する評価 評価は期末試験を主とする。ただしレポートや中間テストを行う場合、それらを補助的評価手段として、総合的に評価する。例えば、レポート20～30点、期末テスト80～70点とする。 なお、3分の2以上の出席を評価の前提条件とし、欠席は減点の対象とする。				経営法務
				スポーツ福祉
				演習
				25年度以前
				専門基礎科目